

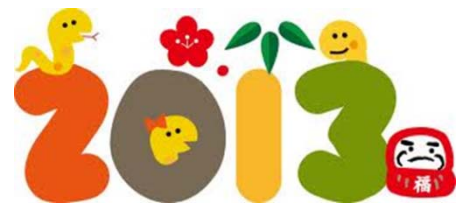


あけましておめでとうございます

寒いですね…。冬眠したいなあと毎年のように思います。そして、こんなに寒いのに毎日楽しそうに散歩に行く愛犬を見ては、偉いなあと感心します。

2013年の抱負などは決まりましたか？私は健康第一に、仕事もプライベートも充実させていきたいと思います。健康第一と言いつつも、このわんにゃん通信を作りながら年末年始の飲み会のことばかり考えております…。

今年もどうぞよろしくお祈りします。



今月は、**慢性腎不全** についてのお話です。

まずは腎臓の働きについて

- ・体の老廃物や毒素を尿として排泄
- ・骨の代謝、造血、体液の平衡状態の維持

猫ちゃんに多いのはなぜ？

猫はもともと飲水量が少なく、少量の体内の水分を最大限有効に利用するため、腎臓を酷使する傾向にあります。特に冬場は飲水量が減るので要注意！

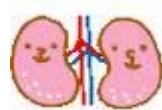
慢性腎不全とは？

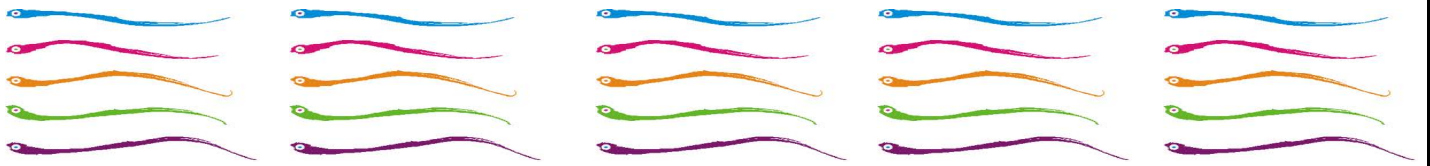
数か月から数年に渡る経過で腎臓の70～80%の機能が障害を受け、老廃物を適切に排泄できなくなり、異常な症状がみられるようになる病気です。

原因は？

- ・ウイルス感染や細菌感染がきっかけとなって起こる糸球体腎炎、間質性腎炎といった腎疾患
- ・先天性の腎臓異常
- ・尿路系が障害を受け、尿が正常に排泄されず急性腎不全を起こし、慢性腎不全に移行

他にも様々な原因があります。





慢性腎不全の症状 (4期に分けられる)

- 第1期 無症状(症状が出ないため、気づきにくい)
- 第2期 多飲・多尿・軽度の貧血
- 第3期 食欲低下・体重減少・嘔吐・貧血
- 第4期 尿毒症・嘔吐・下痢・痙攣



治療 (慢性腎不全の治療は非常に難しく、完治できないこともあります)

- ・治療食による食事療法(低蛋白、低リン、ビタミンEを多く含む)
- ・輸液療法(点滴で水分を多量に補給し、尿量を増やして体内の老廃物を排泄する)

予防

- ・定期的な検査をする
- ・排尿の量や回数をチェックする
- ・蛋白質、塩分の量が適切な、栄養バランスの良い食事をする
- ・新鮮な水がいつでも飲めるようにする



新発売！減量フード！

春から、新しい減量用フードが発売されます。フード会社さんのセミナーを聞くと、自分が試したくなるようなすごいフードでした！！気になる方はスタッフまで♪

ホームページについてのお知らせ

病院内のモニターで流している「スタッフの今週のひとこと」を、ホームページにも掲載するようになりました！多忙な院長に比べて、このスタッフは毎週暇だな～などと思われそうで怖いですが・・・(汗)

また、獣医師の勤務表も載せていますので、獣医師指定などがある場合はご確認の上お越し下さい。

古川動物病院

で検索！



担当：池田

